

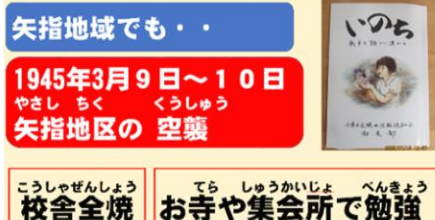
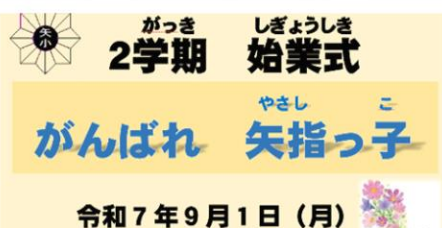
元気よく 2学期スタート！

学校に元気な子どもたちの声もどってきました。子どもたちは、2学期に向けてのエネルギーをたくさん蓄えられたようです。

さて、この夏休みは、地震による津波警報発令があり、本校も避難所を開設しました。矢指地区の皆様も大変心配されたことと思います。学校としましても、災害を想定した訓練を実施し、災害から子どもたちを守れるよう職員一同精一杯努めてまいります。

また、全職員で休業明けの子どもたちの様子を心身共によく観察していきたいと思います。何か気になることがありましたら、遠慮なくご相談ください。

2学期 始業式



2学期のスタートにあたり、3つのテーマで話をしました。

1つ目は、2学期の矢指小の行事についてです。今年度初の取組として、9月11日に地域のスポーツクラブ「SDフィットネス」にて全校児童が着衣泳に取り組みます。インストラクターの方による指導を受け、各担任と管理職も指導や監視に加わります。

2つ目は、戦後80年という節目の年に日本の悲しい歴史について話をしました。そして、「おこりじぞう」「ちいちゃんのかげおくり」「かわいそうなぞう」という戦争に関する絵本を3冊紹介しました。また、私たちの先輩である退職された女性教職員の方々が編集された戦争体験集「いのち」から、矢指地区の戦争被害の記録を紹介しました。終戦の年の3月に空襲を受け、校舎が全焼し、お寺や集会所にて分散学習を行ったこと、当時、在籍していた子どもたちも協力して校舎が再建されたことを伝えました。

3つ目は、9月1日「防災の日」にちなみ、夏季休業中の津波警報発令時の学校の様子や避難訓練の大切さについて話しました。本校は、「大津波警報」発令時は、旭中央病院看護棟5階まで避難します。10月には、その訓練を実施する予定ですので、その際には、ご協力をお願いします。

2学期も、引き続き「元気なあいさつ」と「やさしい言葉遣い」を目標に全校児童が楽しい学校生活を送れるよう願っています。

7月30日

津波警報発令！！その時、矢指小は・・・

7月30日午前8時38分津波注意報が発令され、海岸が学区にある本校は、注意喚起を呼びかけようとテトル配信した直後に「津波警報」が発令されました。まずは、学童クラブを利用している児童の安全確保を本校職員と学童指導員の方と協力して行いました。

避難訓練のとおり体育館2階のギャラリーに避難し、保護者の方に連絡をして引き渡しを行いました。子どもたちが指示をよく聞いて、落ち着いて行動できていたことに感心しました。同時に本校は、津波避難場所に指定されておりますので、避難されてきた地域の方々への対応を行いました。今回は、遠方での地震発生による津波警報ということで、地震の揺れを感じることなく注意報や警報が発令されたため、地域の皆様も驚きと不安で大変な思いをされたことと思います。

本校は、避難所としての課題も明らかになりました。暑さ対策です。校舎が1階建てであることからエアコンが設置されている場所が高所にはなく、この日も職員が体育館で使用している大型扇風機と先日届いたばかりのスポットクーラーを急遽、体育館2階に運び上げ、対応しました。

今回は、夏季休業中の発令でしたが災害はいつ襲ってくるかわかりません。もし、授業中に警報が発令された場合、児童と地域の方が体育館の2階に避難することになります。車の渋滞も起こる可能性があります。職員は児童を安全に保護者の皆様に引き渡せるよう全力を尽くします。ご多用のことと思いますが、有事の際には連絡がつくように日頃から、ご準備いただくことと、引き渡し訓練に基づく引き渡しにご協力いただきますよう今後よろしくお願いいたします。

地域の
避難場所



日の出山公園



避難タワー

旭市PTAバレーボール大会

8月9日、旭市総合体育館にて旭市PTAバレーボール大会が開催され、矢指小は、ブロック準優勝という成績を収めました。1回戦は干渉中に勝利し、2回戦は旭第二中に接戦の末、惜しくも敗れてしまいました。しかし、矢指小PTAのチームワークの良さは健在で、応援に駆けつけてくださったPTAのみなさんや子どもたちの声が、選手の励みになったことと思います。

選手のみなさん、暑さ厳しい中、大変お疲れ様でした。監督・コーチのみなさん、役員の皆様、ご協力ありがとうございました。



お願い：SNS・オンラインゲーム等、家庭内ルールを！！

酷暑が続き、子どもたちのご家庭での過ごし方は、いかがだったでしょうか。7月にご協力いただきました個人面談の際には、SNSやゲーム等のやり過ぎを心配する保護者の方からのご相談も何件かあったようです。ご存じのとおり、子どもたちが不特定多数の人とつながるツールには、危険がたくさん潜んでいます。

また、小学生の発達段階でグループによる言葉のみのやりとりには、誤解やトラブルが発生するケースもあるようで、本校としては、グループトークでのやりとりをしないように子どもたちに指導しています。オンラインゲームについても、チャット機能でのトラブルや高額課金、ゲーム依存等の事例がみられるようです。（千葉県警察「スマホ時代の大人の教科書」より）

SNSやゲームが悪いのではなく、便利で楽しいツールであることは間違いありません。しかし、スマホ時代を生きる子どもたちを守るために今一度、ご家庭でその使い方について話し合い、家庭内ルールが守られているか、ご確認をお願いします。